

平成 28 年 7 月 20 日

各 位

上場会社名 モジュール株式会社

(J A S D A Q : 3 0 4 3)

代 表 者 代表取締役 古澤 龍郎

問 合 せ 先 財務&経企責任者 小田 真理

(T E L : 0 3 - 3 4 5 4 - 2 0 6 1)

第三者委員会の設置に関するお知らせ

当社は、外部からの指摘に基づき、当社監査役主導で行われた社内調査の結果、過年度の業績の一部に疑義があることが判明いたしました。このことを受け、当社監査役会からは、さらに十分な調査が必要との指摘を受けており、本日開催の取締役会において、下記のとおり第三者委員会を設置し、事実関係の調査を行うことを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第三者委員会設置の趣旨

当社の過年度の業績の一部に疑義があることが判明した件について、客観性・公正性・透明性を高めた調査を実施するため、当社とは利害関係を有しない外部の専門家で構成される委員会を設置することといたしました。

2. 第三者委員会設置の目的

今回判明した疑義は、過年度における①無形固定資産に計上されているソフトウェアや賃貸用資産の一部を取得した際の取得価額の妥当性、②ソフトウェア仮勘定におけるソフトウェアの一部を取得した際の取得価額の妥当性、③一部取引先からの仕入計上の適切性、等であり、これらに関して事実関係・原因究明を調査し、再発防止策の検討・提言、同種事例の有無の調査を目的としております。

また、事実関係の確認については、訂正を要する会計処理の有無を含めて第三者委員会の調査対象といたします。

3. 第三者委員会の構成

今後、日本弁護士連合会による「企業等不祥事における第三者委員会ガイドライン」（平成 22 年 12 月 17 日改訂）に沿って委員の選定を行い、決定し次第速やかに公表いたします。

4. 今後の対応について

第三者委員会の調査の結果、明らかとなった事実関係等や、当該事象が当社の業績に及ぼす影響につきましては、判明次第速やかにお知らせいたします。また、当社は第三者委員会による調査に対して全面的に協力してまいります。具体的なスケジュールにつきましては、委員会の構成が決定次第、委員会と協議の上、策定し、開示いたします。

当該事象による影響額及び範囲等については、現在のところ明らかになっておりませんが、第三者委員会にて早急に事実関係の調査及び確認を進める予定です。事実関係が判明次第、適時に開示を行ってまいります。

株主、投資家の皆様をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

以 上